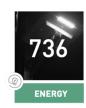


SUBMISSIONS IN NUMBERS

4.538 ENTRIES FOR 2023 EDITION











RECORD GLOBAL PARTICIPATION

This year saw submissions from a record 152 countries, that's 78% of the world's nations



SUBMISSION TRENDS





Decentralised renewable energy solutions to increase access and power essential services in rural communities



Innovative agritech solutions that improve agricultural productivity and combat food insecurity as food stability remains a priority in the wake of increasing food costs



Wastewater and water efficiency solutions were well-represented as organisations and high schools looked to address sanitation and water scarcity



Telehealth solutions remain prevalent in the post-pandemic era as communities gain trust in tech solutions









<インフォグラフィックの説明>

ザーイド・サステナビリティ賞は、サステナビリティ及び人道支援への取り組みを讃えるアラブ首長国連邦(UAE)の先駆的な世界的なアワードであり、UAE 建国の父である故シェイク・ザーイド・ビン・スルタン・アール・ナヒヤーンの遺産に敬意を表するものです。

ザーイド・サステナビリティ賞受賞者のソリューションや高校生のプロジェクトによって、**3** 億 **7.000** 万人以上の人々が直接的・間接的に影響を受けてきました。

2008年にUAEの指導者によって設立された同賞は、5つの部門において、インパクトのある革新的で刺激的なサステナビリティ・ソリューションを推進している人々の功績を称え、その功績を称えるためのものです。

応募総数 4,538

2023 年度分の応募数

- 保健 946
- 食糧 1,426
- エネルギー **736**
- 水資源 601
- グローバル・ハイスクール 829

過去最多の参加国及び応募数

• 今年は過去最高の152カ国(世界全体の78%)より応募がありました。

応募数Ⅰ位国

- ・ケニヤ
- インド
- 中国
- エジプト
- ブラジル
- アメリカ

応募内容の傾向

- 1. 分散型再生可能エネルギーソリューションにより、農村部でのアクセス向上と必要不可欠なサービスの電力供給を実現
- 2. 農業生産性を向上させ、食糧不安と戦う革新的なアグリテック・ソリューション:食糧 価格の上昇に伴い、食糧の安定が優先されている。
- 3. 衛生問題や水不足に取り組む団体や高校から、排水や水の効率化に関するソリューションが多く寄せられました。
- 4. パンデミック後の時代においても、遠隔医療ソリューションは、コミュニティが技術的 ソリューションを信頼するようになったため、依然として普及している。

ファイナリストは 2022 年 11 月に発表予定